

森のニュース 1

県の平成21年度の森林・林業施策と予算

はじめに

治山・林道以外の平成21年度森林・林業施策・予算についてご紹介します。

森林再生50年構想への取組

県では、平成18年度に公表した「かながわ森林再生50年構想」を大きな目標として森林・林業施策を進めておりますが、その中でも中心となるのが水源の森林づくり事業です。

本事業は、平成19年度から「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」にも位置づけられ、水源環境保全税を財源に加えて加速化して取り組んでおり、平成21年度は31億35百万円（対前年比97.8%）の予算を組んでおります。



水源林整備（南足柄市福泉）

事業執行の一元化

水源環境保全・再生施策は、これまで政策部と環境農政部が所管しておりましたが、平成21年度から事業執行の円滑化を図るため、環境農政部に一元化することとなりました。

施策全体の管理は緑政課が行う

とともに、市町村が行う私有林の公的管理・支援等に交付金を助成する「地域水源林整備事業」が森林課へ移管となりました（ただし予算計上は緑政課）。

今後は森林課（出先を含む）で、他の森林・林業施策との整合も踏まえ、技術的支援等と一体的に連絡調整させていただきますので、よろしく申し上げます。



水源林整備（相模原市津久井町青根）

かながわ森林塾の開校

こうした森林整備の加速化や木材生産の段階的な増産計画に伴い、今後も事業量は増加していくこととなります。

そこで、林業労働力の確保・育成が大きな課題となってきました。これまでも事業量の急増に対応するため、造園業者や土木業者の参入を促すための森林整備基本研修をはじめ、様々な研修等の実施により、林業労働力の確保・育成を図ってきましたが、さらなる取組みの充実を図るため、様々なレベルの林業技術者等を養成する機関として、今年度「かながわ森林塾」を開校することとしました。

森林塾では、多様な研修コースを設けますが、林業への就業を希望している方（＝まだ就業前の方）を対象とした研修コースを目玉としています。これは、林業への就業を考えている方に、現場での作業を体験してもらい、基礎的な技術と体力を養うと同時に、長く続けていけるかどうかの見極めをしてもらうものです。このことにより、雇う側の事業体にとっても、基礎的な技術・体力そして覚悟を身につけた者ということで雇用しやすくなるという一石二鳥をねらいとしたものです。既に3人の専属の職員が開校準備を進めておりますので、ご期待下さい。



間伐材の搬出（松田町寄）

21年度予算は79億円

以上の取組みの他、県産木材活用総合対策や全国植樹祭の開催準備など多岐にわたる事業を加え、森林課の平成21年度当初予算は計78億24百万円（対前年比99.1%）となっております。また、この他、緊急雇用対策として14本計89百万円の事業を予定しております。

事業執行にあたりご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

（環境農政部森林課管理・計画班）